

令和5年度（10月入学）

大学院自然科学教育部
（博士後期課程）

進学者選考要項

出願期間	令和5年7月19日（水）～7月25日（火）
試験日	令和5年8月17日（木）
合格発表日	令和5年8月31日（木）



大学院自然科学教育部

Graduate School of Science and Technology

(Doctoral Degree Program)

目 次

大学院自然科学教育部の理念・目標	1
アドミッションポリシー	
1. 専攻及び募集人員	2
2. 出願資格	2
3. 出願期間	2
4. 出願手続	2
5. 提出書類等（出願時）	3
6. 選考方法	3
7. 試験日時等	3
8. 集合場所	4
9. 選考結果発表	4
10. 進学手続等	4
11. 奨学金	5
12. 注意事項	5
13. 問合せ先	5
個人情報の取り扱い	5
入学志願票の記入上の注意	6
出身大学所在地コード（別表1）	7
専攻・コース・教育プログラムコード（別表2）	8

以下の出願書類のうち、①②は自然科学系事務課大学院教務・国際担当で「学生募集【出願要項】」を別途配布します（郵送も可）。それ以外はウェブサイト（<https://www.fast.kumamoto-u.ac.jp/gsst/admission/>）よりダウンロードできます。台風等天候の影響による変更があった場合には、上記ウェブサイトで掲示します。出願前に最新情報をご確認ください。

- ① 入学志願票
- ② 写真票・受験票・住所票
- ③ 志望理由書
- ④ 研究（希望）計画書
- ⑤ 修士学位論文要旨又は研究経過報告書
- ⑥ 提出書類等のチェックリスト

大学院自然科学教育部の理念・目標

大学院自然科学教育部では、各専攻における高い専門性と論理的思考能力に加え、様々な問題に対し最先端の科学や技術を通して、俯瞰的な立場から創造力を持って解決できる能力を有し、地域社会と国際社会に貢献できる人材を養成する。

アドミッションポリシー

博士後期課程

自然科学の広範な分野に対する興味と教養ある社会人・国際人としての自覚を有し、深奥な真理の探求や科学技術の創成へ果敢に挑戦する強い目的意識と意欲を持ち、新たな課題を自ら見出し解決してゆく能力と柔軟な創造力を磨き高めようとする人を求める。

<理学専攻>

本専攻は、自然科学に関する深い専門的知識と洞察力を備え、広い視野と高い倫理観を持ち、自ら国際的に通用する研究を展開できる人材の養成を目的としている。これにより、修了後は自立した研究者として自らの研究テーマを構築し、最先端の研究を切り開くことのできる人材、あるいは教員や公務員、企業に所属する高度専門職業人として、理学の専門知識を用いて活躍できる人材の養成を目指す。

以上のような観点から、本専攻は、次のような人を求める。

- 自然科学に関する確かな知識と論理的思考によって、課題に取り組むことができる人
- 自然科学に高い関心を持ち、学問に精進努力する人
- 先端科学の発展とその応用を目指す強固な意志を持つ人
- 我が国はもとより世界のリーダーを目指す人

<工学専攻>

本専攻は、人類の幸福を目指し人間性豊かで活力ある社会を築くため、新しい科学技術の開発や従来技術の機能的連携・再編を行いながら、多様化する社会環境の変化に対応し得る総合的な教育・研究を行い地域社会と国際社会に貢献する指導的役割を担う高度な専門性と研究能力を備える先導的な人材の養成を目的としている。

以上のような観点から、本専攻は、次のような人を求める。

- 土木建築、機械数理工学、情報電気工学、材料・応用化学に関連する該当する教育プログラムをより深く学習・研究する意欲を持ち、基礎工学から応用技術までを含めた総合的先端技術開発に対応するために各分野で必要とされる基礎学力を有する人
- 専門的知識を活かして人類繁栄のために貢献し、我が国はもとより世界のリーダーを目指す人
- 次世代の高度な科学技術を確固たる倫理観と責任感を持って主体的に発展させ、次代を担う気概と強い意志を持つ人
- 各学問領域における確実な専門性を基本とし、広範な知識とコミュニケーション力をもとに異分野と連携しながら地域社会や国際社会における諸問題に対して主体的に解決していく意欲を持つ人

1. 専攻及び募集人員

専攻名	募集人員
理学専攻	各専攻とも若干名
工学専攻	

2. 出願資格

本学の大学院修士課程又は博士前期課程を令和5年9月修了見込みの者。

3. 出願期間

令和5年7月19日(水)～7月25日(火)

4. 出願手続

持参する場合は、9時から16時までとします。

郵送する場合は、封筒表面に「大学院自然科学教育部（博士後期課程）進学願書在中」と朱書きし、『書留速達』で郵送してください。

出願期間後に到着したものは、7月23日（日）までの消印のあるもの限り受け付けます。

【提出先】〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39番1号
熊本大学自然科学系事務課大学院教務・国際担当

5. 提出書類等（出願時）

提出書類等	提出該当者	摘 要
入学志願票	全 員	所定用紙 ：p.6 の「記入上の注意」を参照してください。
写真票・受験票・住所票	全 員	所定用紙
写 真（2 枚）	全 員	縦4cm×横3cm, 上半身脱帽正面向きで撮影したものを「写真票」及び「受験票」に貼ってください。
志 望 理 由 書	全 員	所定用紙 ：本教育部を志望する理由並びに指導希望教員の氏名を記入してください。
研究（希望）計画書	全 員	所定用紙 ：指導予定教員と相談の上, 作成してください。
修士学位論文要旨 又は研究経過報告書	全 員	所定用紙 ：2,000字程度。なお, これ以外に研究発表など参考となる資料があれば提出してください。
受験票返送用封筒	全 員	定型封筒（長形3号(23.5cm×12cm)）に郵便番号・住所・氏名を明記し, 344円分（速達料金を含む）の切手を貼ったもの。
修了見込証明書 （オリジナルを提出(コピー不可)）	自然科学教育部以外 を修了見込みの者	所属長が作成したもの。
成 績 証 明 書 （オリジナルを提出(コピー不可)）	自然科学教育部以外 を修了見込みの者	所属長が作成したもの。
就 学 承 諾 書	社 会 人 志 願 者	勤務先の所属長又は機関の長が作成したもの。（様式随意）提出できない場合は, それに準ずるもの。（誓約書等）
住民票又は在留カード の写し	外国人志願者	住民票または在留カードの写しを提出してください。出願者以外の世帯員については証明不要です。出願時に日本国内に在住していない者は, 旅券をコピーしたものを提出してください。
推 薦 状	任 意 提 出	指導教員, 又は社会人院生は勤務先の上司が作成したもの（様式随意）。
提出書類等のチェックリスト	全 員	所定用紙 ：チェック欄の志願者欄口にチェック（✓）をしてください。

- (注) 1. 改姓等により, 現在の氏名と証明書の氏名が異なる場合は, 戸籍抄本を添付してください。
 2. 身体に障がいや有する進学志願者で, 受験上及び修学上特別な配慮を希望する場合は, 令和5年7月5日(水)までに, 自然科学系事務課大学院教務・国際担当(096-342-3013)へ相談してください。
 3. 進学後, 提出書類及び記載事項に虚偽の記載が発見された場合は, 入学を取り消すことがあります。

6. 選考方法

進学者の選考は, 口述試験の成績及び提出書類を総合して判定します。また, 口述試験の内容は, 志望する専攻によって以下のとおりです。

専 攻 名	口述試験の内容
理学専攻	現在の研究内容, 今後の研究計画および入学後の研究（希望）計画等を説明する。その後, その説明内容, 志望する研究分野の知識などについて試問を行う。
工学専攻	現在の研究の内容, 今後の研究計画および入学後の研究（希望）計画等を説明する。その後, その説明内容, 志望する研究分野の知識などについて試問を行う。

7. 試験日時等

日 時	選抜方法	時 間
令和5年8月17日(木)	口述試験	10:00～

8. 集合場所（9時30分までに入室すること）

専攻名	コース・教育プログラム名	集 合 場 所	
		※番号	名 称
理学専攻	数学コース	71	黒髪南E 3（理学部3号館）4階 D 4 0 3 セミナー室
	物理科学コース	71	黒髪南E 3（理学部3号館）3階 D 3 1 4 物理セミナー室
	化学コース	69	黒髪南E 1（理学部2号館）2階 C 2 2 8 小講義室
	地球環境科学コース	69	黒髪南E 1（理学部2号館）4階 C 4 1 3 会議室
	生物科学コース	71	黒髪南E 3（理学部3号館）2階 D 2 0 1
工学専攻	広域環境保全工学教育プログラム	58	黒髪南C 2（工学部1号館）3階 3 2 6 号室（ゼミ室[2]）
	社会環境マネジメント教育プログラム	58	黒髪南C 2（工学部1号館）3階 3 2 6 号室（ゼミ室[2]）
	人間環境計画学教育プログラム	58	黒髪南C 2（工学部1号館）5階 5 2 5 ゼミ室
	循環建築工学教育プログラム	58	黒髪南C 2（工学部1号館）5階 5 2 5 ゼミ室
	先端機械システム教育プログラム	59	黒髪南C 3（工学部研究棟I）4階 4 0 2 教室
	機械知能システム教育プログラム	59	黒髪南C 3（工学部研究棟I）5階 5 0 2 会議室
	応用数理教育プログラム	52	黒髪南W 5（工学部研究棟IV）3階 数理会議室兼セミナー室
	先端情報通信工学教育プログラム	49	黒髪南W 2（（黒髪）総合研究棟）2 0 4 多目的会議室
	機能創成エネルギー教育プログラム	49	黒髪南W 2（（黒髪）総合研究棟）2 0 8 セミナー室
	人間環境情報教育プログラム	52	黒髪南W 5（工学部研究棟IV）3階 会議室
	物質生命化学教育プログラム	51	黒髪南W 4（工学部研究棟II）2階 国際セミナー室
	物質材料工学教育プログラム	59	黒髪南C 3（工学部研究棟I）1 1 階 1 1 0 3 - 1 図書閲覧室

※集合場所の番号は熊本大学ホームページの黒髪南地区キャンパスマップの番号による。URL:

https://www.kumamoto-u.ac.jp/campus_jouhou/map_kurokami_2

9. 選考結果発表

令和5年8月31日（木）

合格者には、合格通知書を郵送します。また、参考までに熊本大学のウェブサイト（<https://www.kumamoto-u.ac.jp>）に合格者の受験番号を掲載します。

なお、ウェブサイトへの掲載は11時頃を予定していますが、当日の通信環境の状況等により遅れる場合があります。また、多数のアクセスにより、一時的に応答が遅くなったり、回線の障害が発生し閲覧ができなくなることも予想されますので、ご留意願います。

合格通知書の氏名については、コンピュータに登録する際に慣用字体を用いますので、志願票の表記と異なる場合があります。また、対応できない場合は、カタカナで表記しますのでご了承ください。

なお、電話等による可否の照会には一切応じません。

10. 進学手続等

進学手続の詳細については、合格通知書発送の際に同封します。進学手続きはインターネット入学手続システムを利用して行います。

11. 奨学金

日本学生支援機構奨学金の申込みを行い、奨学生に採用された場合、第一種奨学金（月額80,000円、122,000円から選択）、又は第二種奨学金（月額50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択）の貸与を受けることができます。その他、地方公共団体及び民間団体の奨学金制度もあります。

また、博士後期課程学生を対象とした本教育部独自のプログラムである「世界最高水準のマテリアル研究を支える研究志向型人材育成フェローシップ（寺田寅彦フェローシップ）プログラム」に申請し、採択された場合は生活費相当額として研究専念支援金月額15万円や、授業料全額免除の支援を受けることができます。さらに、寺田寅彦フェローシッププログラム以外でも、本学の博士後期課程学生を対象にした「Well-Being 社会を先導する異分野横断型博士人材育成プログラム」に申請し、採択された場合は生活費相当額として研究専念支援金月額18万円の支援を受けることができます。その他、地方公共団体及び民間団体の奨学金制度もあります。

12. 注意事項

- (1) 出願に当たっては、あらかじめ指導希望教員に連絡をとり、相談してください。
- (2) 出願書類を受理した後は、記載事項の変更及び出願書類の返還等はできません。
- (3) 受験の際は、受験票を必ず持参してください。また、携帯電話等の電源は切ってください。
- (4) 口述試験の開始時刻に遅刻した場合は、試験を受験できないことがあります。
- (5) 不正行為をした者は、失格となります。

携帯電話等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておいてください。試験時間中に、これらを身につけていたり、手に持っている不正行為となることがあります。

試験場において他の受験生の迷惑となる行為をした場合や、試験監督者等の指示に従わない場合には、不正行為となることがあります。

その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為は、不正行為となることがあります。

- (6) 受験票は、入学手続きの際にも必要ですので紛失、汚損等のないようにしてください。
- (7) 進学者選考は検定料の払込みは不要です。

13. 問合せ先

受験に関する問合せは、熊本大学自然科学系事務課大学院教務・国際担当（電話番号096-342-3013）で受け付けます。[英語での問合せ先] 096-342-3016

個人情報取り扱い

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報については、入学選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続きに係る業務で利用します。
- (2) 入学手続き者の氏名等を入学後の学籍管理など修学に係る業務で利用します。
- (3) 入学手続き者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入金管理に係る業務で利用します。
- (4) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除及び奨学生選考など修学支援に係る業務で利用します。
- (5) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を、入学選抜等に関する調査・研究等に係る業務に利用します。

(注) 本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

【(博士後期課程10月入学) 入学志願票の記入上の注意】

1. 入試区分等	入試区分	該当する入試区分の番号を○で囲んでください。
	受験番号	記入しないでください。
2. 氏名	フリガナ	氏と名を分けて記入してください。
	氏名	外国人の方のみミドルネームまで記入してください。
3. 生年月日等	生年月日	生年月日を西暦4桁、月・日2桁の合計8桁で記入してください。 (例) 平成10年8月3日生→19980803
	性別	該当する性別の番号を○で囲んでください。
4. 出願資格 (出身大学等)	出身大学等所在	都道府県名を記入してください。
	大学等卒業年月 (西暦)	大学等を卒業した年月を西暦4桁、月2桁の合計6桁で記入してください。
	出身大学等	国立・公立・私立の該当するものを○で囲んでください。 卒業した大学名、学部名、学科名を記入してください。 大学卒業以外の方は出来るだけ詳細に卒業学校を記入してください。
	出身大学院所在地	修了見込みの大学院等の所在地の都道府県名(熊本)を記入してください。
	出身大学院等	『国立』を○で囲んでください。 修了見込みの大学院名(熊本大学)、教育部名、課程、専攻名を記入してください。
	出身大学コード	0384を左詰めで記入してください。
	修了見込・卒業の別	1. 修了見込の『1』を○で囲んでください。
	修了年月	修了見込みの年月202309を記入してください。
	出身大学 所在地コード	別表1を参照の上、2桁のコードを記入してください。 (例) 熊本県→43
	5. 旧学生番号	旧学生番号
6. 志望専攻等	志望専攻	志望する専攻名を記入してください。
	志望専攻コード	志望する専攻のコードを、別表2を参照の上、記入してください。
	志望コース・ 教育プログラム	志望するコース・教育プログラム名を記入してください。
	志望コース・教育プロ グラムコード	志望するコース・教育プログラムのコードを、別表2を参照の上、記入して下さい。
7. 住所	現住所	郵便番号、現住所、電話番号及びEメールアドレスを記入してください。
	緊急連絡先	現住所以外に緊急連絡先があれば記入してください。
8. その他	社会人区分	入学が許可された場合、その後の状況が次に該当する場合は『1』を、該当しない場合は『2』を○で囲んでください。 ・給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いている方 (ただし企業等を退職した方及び主婦の方も含まれます。)
	留学生区分	留学生である場合は、該当する番号を○で囲んでください。 留学生でない場合は、記入の必要はありません。

※入学志願票及びその他の書類については、必ず志願者本人が、後で消せない黒のボールペンを使用し、楷書で明確に記入してください。鉛筆や消せるペンの使用は認めません。(ダウンロードして利用する書類については、パソコンによる入力も可。)

出身大学所在地コード(別表1)

県コード	県名等	県コード	県名等	県コード	県名等	県コード	県名等	県コード	県名等
01	北海道	13	東京都	25	滋賀県	37	香川県	50	外国
02	青森県	14	神奈川県	26	京都府	38	愛媛県		
03	岩手県	15	新潟県	27	大阪府	39	高知県		
04	宮城県	16	富山県	28	兵庫県	40	福岡県		
05	秋田県	17	石川県	29	奈良県	41	佐賀県		
06	山形県	18	福井県	30	和歌山県	42	長崎県		
07	福島県	19	山梨県	31	鳥取県	43	熊本県		
08	茨城県	20	長野県	32	島根県	44	大分県		
09	栃木県	21	岐阜県	33	岡山県	45	宮崎県		
10	群馬県	22	静岡県	34	広島県	46	鹿児島県		
11	埼玉県	23	愛知県	35	山口県	47	沖縄県		
12	千葉県	24	三重県	36	徳島県				

専攻・コース・教育プログラムコード（別表2）

専攻コード	専攻名	コース・ 教育プログラム コード	コース・教育プログラム
10	理学専攻	10	数学コース
		20	物理科学コース
		30	化学コース
		40	地球環境科学コース
		50	生物科学コース
20	工 学 専 攻	10	広域環境保全工学教育プログラム
		20	社会環境マネジメント教育プログラム
		30	人間環境計画学教育プログラム
		40	循環建築工学教育プログラム
		50	先端機械システム教育プログラム
		60	機械知能システム教育プログラム
		70	応用数理教育プログラム
		80	先端情報通信工学教育プログラム
		90	機能創成エネルギー教育プログラム
		100	人間環境情報教育プログラム
		110	物質生命化学教育プログラム
		120	物質材料工学教育プログラム